

日本応用心理学会
会員の皆様

「応用心理学のクロスロード」(第 13 号) のミニアンケート協力のお願い

日本応用心理学会広報委員会
第 13 号編集長 張 貞京
広報委員会委員長 田中真介

会員の皆様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
今年度は日本応用心理学会の第 87 回大会が開催中止され、研究活動において前例のない様々な
ご苦勞があったかと思えます。

さて、「応用心理学のクロスロード」第 13 号の編集を進めている広報委員会からのお願いです。
コロナ渦の中、皆様が経験された困難、工夫、成果、今後の見通しなどを教えていただけないで
しょうか。

ピンチをチャンスに変える手がかりとして、会員で共有できることを願っています。
下記のミニアンケートについて積極的に寄稿していただけると大変ありがたいです。

【ミニアンケート】

1. コロナへの対応で苦慮されていること...所属先での困難な状況、対応方法の例。
2. 工夫してきたこと、うまくいったこと...対応の工夫、新たな取り組み、逆境を転機にできた例。
3. その他...心理的な問題への対応、心理的ケアの具体例、現状と今後の展望など何でも自由に。
4. 研究に取り組む若手研究者へ勧めたい 1 冊...著者・タイトル・出版社・出版年、勧める理由など

【執筆について】

ご執筆いただける際は、

- ・締め切り：2020 年 10 月 31 日（土）
（原稿締切日まであまり日がなくて恐縮に存じます）
- ・分量：800 字～1000 字
- ・連絡先：次号（第 13 号）の編集長の張 貞京（E-mail：chang-jk@po.kbu.ac.jp）まで
（執筆要領が必要な方はご連絡いただきましたら、お送り致します。）

以上